

アジア女子予選Preview こじ開けろ！



「おりひめジャパン」こと日本女子代表がいよいよ最大の関門に挑む。来年のリオデジャネイロ・オリンピックのアジア予選が、愛知・愛知県体育館で10月20日から25日にかけて開催される。アジアに与えられた出場枠はわずか「1」。日本をはじめ韓国、中国、カザフスタン、ウズベキスタンの5カ国が火花を散らす。総当たりのリーグで首位になった国にはオリンピック出場権が与えられ、2位のチームは3月の世界最終予選に回ることになる。日本が勝てば40年ぶりのオリンピック出場だ。

ここからは、アジア予選に臨むおりひめジャパンの主力選手による対談やインタビュー、候補メンバー紹介、出場国分析などをお届けする。

リオデジャネイロ・オリンピック リオへの扉を



大会日程

10月20日(火)	17:00～	カザフスタン	－	中国
	19:00～	日本	－	ウズベキスタン
10月21日(水)	17:00～	韓国	－	カザフスタン
	19:00～	中国	－	日本
10月22日(木)	17:00～	中国	－	韓国
	19:00～	ウズベキスタン	－	カザフスタン
10月23日(金)	休息日			
10月24日(土)	16:00～	日本	－	カザフスタン
	18:00～	ウズベキスタン	－	韓国
10月25日(日)	14:00～	ウズベキスタン	－	中国
	16:00～	韓国	－	日本

※24日の日本－カザフスタン、25日の韓国－日本の2試合はNHK-BSで放送予定

会場

愛知県体育館	住 所: 愛知県名古屋市中区二の丸1-1
	電 話: 052-971-2516
アクセス: 名古屋市営地下鉄名城線『市役所駅』より徒歩5分	

チケット情報

券 種	1日券		全日程 通し券	アリーナ席 (24,25日のみ)
	当日券	前売券		
一般・大学生	2500円	2000円	6000円	3500円
中高生	1500円	1200円	3500円	
小学生	500円	400円	1000円	
Lコード	—	38725	38724	
Pコード	—	830-406	683-982	830-406

【ローソンチケット】インターネット: <http://l-tike.com>、電話: 0570-084-004

【チケットぴあ】インターネット: <http://pia.jp/t/>、電話: 0570-02-9999

【e+】インターネット: <http://eplus.jp>

【CNプレイガイド】インターネット: <http://www.cnplayguide.com/>、

電話: 0570-08-9999

※24日(土)、25日(日)の2日間は、アリーナ席以外の一般席のご利用が可能
お問い合わせは愛知県協会事務局へ(電話: 052-413-2188)

本多恵×横嶋かおる

ラストチャンスの決戦へ



オリンピック予選を直前に控えたおりひめジャパン。彼女たちが3年間積み重ねてきた思いを聞いた。まずはキャプテンの本多恵と不動のポスト横嶋かおるの主軸2選手が意気込みを語った。

——まずは現在の調子をお聞かせください。

本多恵（以下、本多）「昨年はケガを抱えながらやつてきましたが、ようくなってきたので、これからさらに上げていきたいです」

横嶋かおる（以下、横嶋）「調子はだんだん上がっているので、ケガしないようにしたいですね」

——本多さんは前回のオリンピック予選も経験しました。今のチームは前回とどんなところが違いますか。

本多「チームとしては監督も変わってコンセプトも違うけど、めざすところはいっしょ。個人的には前回はまだ若く、自分のステップアップだと考えていました。たぶん横嶋さんも同じと思いますが、今回のオリンピック予選が最後だと決めているので、しっかり照準を合わせ、後悔しないようにしたいです」

横嶋「私はケガなどもありましたけど、オリンピックに出ることだけをめざして続けてきたので、本多さんも言ったとおり、自分も集大成として、すべてをかけて挑みたいです」

——お2人は普段から仲がいいですか？

よね。ハンドボールの話はよくされますか。

本多「合宿でこれだけ毎日いたらハンドの話はしたくなくなりますよ」
横嶋「一番話したのは、私が辞めようか悩んでいた時かな」

——それはいつですか？

横嶋「世界選手権（2011年、セルビア）の時です。私は1年1年、一生懸命やることだけを考えていたので、世界選手権を終えた時に競技生活はこれで最後かなと。悩んでいた私に本多さんが『がんばろう』『いつもよにオリンピックをめざそう』って声をかけてくれた時に一番ハンドの話をしたかな」

——ということはかなり長く話されたんですね。

横嶋「自分がまたやろうって思えるぐらいですかね（笑）」

本多「昔から横嶋さんはいろいろな話をしていました。だから横嶋さんは私にとって（前回の予選で）選ばれなかつたけど、ずっとがんばっている人という存在なんです。栗山監督体制になってからポストは横嶋さんをメインで戦っています。これ



本多恵(ほんだ・めぐみ、旧姓・高橋)。抜群のキャプテンシーでチームをまとめる。横嶋とはジュニアの代表時代からのつき合い。



横嶋「私の話をしたらけ
ます」



横嶋かおる(よこしま・かおる)。今の日本代表になくてはならないポスト。強さと柔軟性を兼ね備え、攻守両面で世界に通用する選手。

まで世界と戦う時、ポストが課題だと先輩たちとも話していました。横嶋さんはこの身長(161cm)でも通用しているので、チームにどつても、私にどつても横嶋さんにとっても、私にどつても最後までやつてほしかった、という感じです」

——このように言っていますが、実際に聞いてみてどうですか。
横嶋「こつむほめてくれないので、れしきです。ありがとうございます! (笑)」

——実際に世界と戦った感想は。
横嶋「相談されたこと…うーん…」
本多「あるじゃなじですか。チームのことじか。あとキャプテン談とか」

——それはどうこう話を。
横嶋「お互い所属チームではキャプテンをしていたので、代表で集まつた時のまとめ方とかを話します」

——日本代表をまとめるのは難しいですか。

本多「難しいですね。代表に集まる人ってチームではスタートで出る人ばかりで試合に出られない人の気持ちがわからない人も多いんです。だから横嶋さんだってベンチアウトを経験したんだから聞いておいで」って言います」

横嶋「私の話をしたらけ
ます」
本多「だけどあつちにはまだまだ人
がいるので、いつどじでだれがどう

——横嶋さんから見て、キャプテンのいいと思われていることが多いです。横嶋さんにとっても、私にとっても、小さくても戦えることを見せつけたい気持ちが強かったです」

——逆に本多さんから横嶋さんへ相談はしますか。
横嶋「相談されたこと…うーん…」
本多「あるじゃなじですか。チームのことじか。あとキャプテン談とか」

——韓国に対するはどのような印象をお持ちですか。
本多「最初は競つていただけ、昨年はだいぶ差を開けられたと思っていました。じゃあ競つていた時に戻ればいいって」とはなんですよ。焦りもありましたけど、遠征などでヨーロッパ勢と戦う中で、確実にステップアップしている。「どこまでやればいいか」という確信はないけど、毎日のトレーニングをやれるところまでやり切つて準備をしたいです」

——中国、カザフスタンにはここ最近負けていませんね。
横嶋「私も同じですね。最近、韓国には10点差近く離されていますが、勝てない相手とは思つていません」

——中国、カザフスタンにはここ最近負けていませんね。
本多「ただまだ人

出でくるのかわからない。やっかし
たらデータにない選手が急に出でく
るかもしません」

——中国、カザフスタンも警戒して
いるということですね。では最後に
オリンピック予選に向けて意気込み
を聞かせてください。

横嶋「ない!」
本多「オリンピックへ行くだけです。
それ以外にありますか?」

——中国、カザフスタンも警戒して
いるということですね。では最後に
オリンピック予選に向けて意気込み
を聞かせてください。



本多、横嶋選手のサイン入りレプリカボールを1名さまにプレゼント!



①氏名(ふりがな)②住所③年令、または学年④電話番号⑤今月号でおもしろかった記事を3つとその理由⑥おりひめジャパンへの応援メッセージを明記のうえ、144ページ下欄の宛先に「本多、横嶋選手サイン入りボール係」としてハガキ、FAX、メールでお送りください。締め切りは10月末日(消印有効)。当選者は12月号誌面上で発表。

原希美 × 角南唯 × 松村杏里

思い切りやることが若手の役目



続いては、初めてのオリンピック予選を迎える原希美、角南唯、松村杏里の3選手による鼎談をお届けする。若手の立場から見たチームのようす、そしてリオデジャネイロ・オリンピック予選に向けた今の想いを語り合ってもらった。

——まずお互いの印象を教えてください。

松村杏里

(以下、松村) 「のんさん(原)はガツン系です。アウトペースが空いているDFに対して、栗山監督がメンバー調整でのんさんを投入したら、一発田から迷いなく突進していきます」

原希美 (以下、原) 「自分でもそれしかできないと思っています」

角南唯 (以下、角南) 「プレーに迷いがなくて安心してバスでありますね」

松村 「唯は横嶋(か)さんとのポストプレーも息が合っている。私も逆側のサイドですがコンビを合わせようとしています」

原 「唯は動きが柔らかく、その柔らかさがほしょくなっています」

角南 「杏里はいいところで決めてくれるし、流れを変えてくれて……あれ? ほめてほりかりだな」

一同 「(笑)」

松村 「わっとちょっとだけ…」

原 「ふるんなプレーにこなして対応できる!」

松村 「うふふ」

原希美
はらのぞみ



思い切りのいいプレーはチーム1。ここ数年でさまざまなポジションで活躍できる日本にとっても心強い存在に成長した。

松村 「そういえば、この間の合宿(7月14日~8月3日)からチームが急激にまとまり出したと感じました。普段もそうだし、上下関係なくワイワイやってます」

原 「キッカケは…あれ? かがですか?」

松村 「そういえば、この間の合宿(7月14日~8月3日)からチームが急激にまとまり出したと感じました。普段もそうだし、上下関係なくワイワイやってます」

原 「キッカケは…あれ? かがですか?」

角南 「あれでしょ」

松村 「あれか。前回の合宿の時、オフ田の前田に全員で食事に行つたんですよ」

原 「初めてだよね」



松村杏里

攻守で頼りになる選手。ネガティブ思考な一面もあると言うが、試合では勝負強さを見せる。

角南唯 「前まで上と下（の年代）に温度差があると言われていたけど、なくなってきたように思います。私は遠慮しがちなんです…。それを東濱さんと一緒に書つたら、『若手はどうんどうなつました』

角南 「前まで上と下（の年代）に温度差があると言われていたけど、今はニスが起きたらすると短い時間でココニカーションを取れるようになりました」

松村 「前まではなにかあってもそのままにして『なにもしないの？』じ怒られることがあつたけれど、今はニスが起きたらすると短い時間でやすぐなったよね」

松村 「練習の中とかでも意見を語つて『本当に楽しかった！』なり盛り上がりました」

原 「練習の中とかでも意見を語つてよかったです」

松村 「海外遠征の時も『飯に行ったりしますけど、全員は初めて。かなり盛り上がりました』

自分を出したかった。自分のしたいことをやるよとに『言わされました。そこから要求もできるようになります』相談してよかったです」

角南唯



原 「私の場合はOFでもOFでも頼れる先輩がとなりにいて、すぐにフォローしてくれる。そんな安心感があるから、前までは失敗を恐れていたけれど、今はできることをやろうと思えて、迷いがなくできていますね」

松村 「私の場合はOFでもOFでも頼れる先輩がとなりにいて、すぐにフォローしてくれる。そんな安心感があるから、前までは失敗を恐れていたけれど、今はできることをやろうと思えて、迷いがなくできていますね」

原 「初めてのオリンピック予選に向けてどんな気持ちですか？」

原 「日本での開催で観客も多いと思うし、そこができるってこの人はすごく楽しみ。不安がないように準備して会場に乗り込みみたいですね」

角南 「私もすごく楽しみ。でも試合は絶対緊張しちゃいます。とりあえず、その時はみんなの顔を見て乗

松村 「身内もこっちは応援に来てくれるって言つてくれてうれしいです。でもまだ想像できないな。しかし、自分が楽しめたらいいです」

原 「オリンピック予選で果たしたい——オリンピック予選で果たしたい自分役割とは？」

松村 「自分が持つべきことをしっかりとやることをしっかりやって最高の瞬間をみんなで迎えます」

角南 「妹の栗帆（三重バイオレットアイロス）にこうとろを見せたいです。戦うのは自分たちだけ、応援してくださる方もみんなで戦つて最後は最高の笑顔で終わりたいです」

松村 「みんなでこっしょにオリンピックの切符を取りましょ！」

たんとの「ハンドルを回せられるようになります」

——最後に応援してくれている人たちにメッセージをお願いします。

松村 「私は速攻で貢献します」

——最後に応援してくれている人たちにメッセージをお願いします。

松村 「私は速攻で貢献します」

3選手のサイン入り レプリカボールを 1名さまにプレゼント



①氏名(ふりがな)②住所③年令、または学年④電話番号⑤今月号でおもしろかった記事を3つとその理由⑥おりひめジャパンへの応援メッセージを明記のうえ、144ページ下欄の宛先に「原、角南、松村選手サイン入りボール係」としてハガキ、FAX、メールでお送りください。締め切りは10月末日(消印有効)。当選者は12月号誌面上で発表。

い。横嶋(か)

すね(笑)」「私は、この間のヨーロッパ遠征で一対一、カットイン

がよくできたのでそこを出した

トを決めないと

Fが空いていたら迷いなく、わかつ込むしかない。でもけやんといシロー

鼎談中は控えめなようすだったが、日本代表では少しずつ自分を出せるように。周囲を活かせる期待の左腕。

Special Interview

藤井 紫緒 (宣真高教員)

やるからには 出場権獲得を

頼もしい左腕が帰ってきた。3月に現役を引退し母校で教員になった藤井紫緒が再び日本代表のユニフォームに袖をとおした。もう一度代表で戦う決意をしたきっかけはなにか。藤井が思いを語った。

9月1日から東京・味の素ナショナルトレーニングセンターで長期合宿を行なっている日本女子代表。その中に、藤井の姿があった。

今年3月に一度は引退を決意してユニフォームを脱いだ。しかし、類い希な得点感覚を持つ左腕を日本代表・栗山雅倫監督は必要と感じ、アプローチを続けた。

「オリンピックをめざすなら、そもそもあと1年続けていたし、自分の中では今年3月で辞めようと思っていました。教員になってとにかく時間がなかったんですよ。だからお話をいただいた時に戻れる自信はありませんでした」

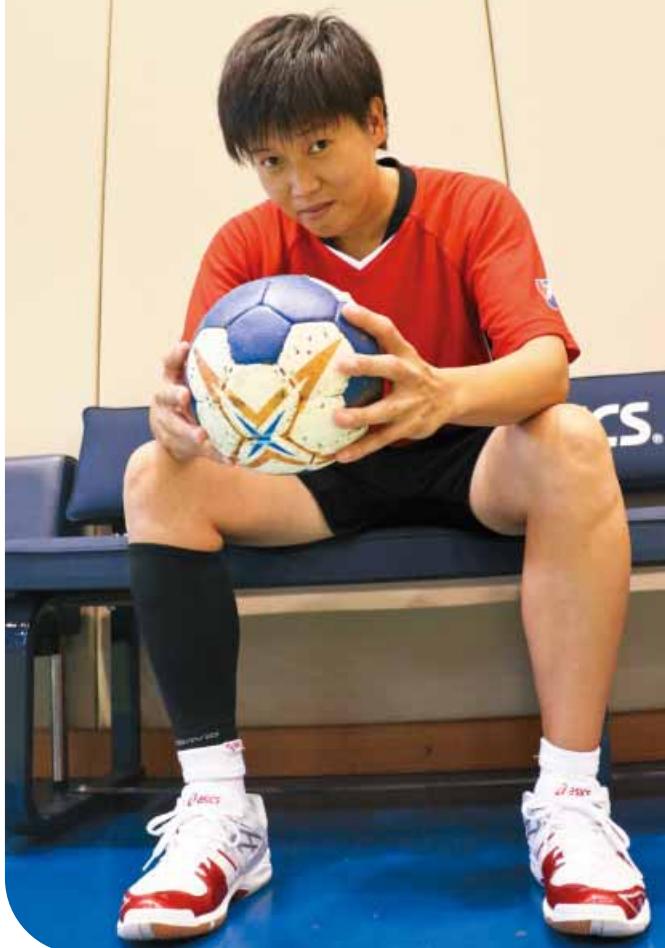
悩んでいた藤井を決心させたのは、いっしょに働いていた宣真高の教員だった。

「やっぱり先生方が協力体制をとってくれたのは大きかったですね。『日本代表はだれでもなれるものじゃない。最後のチャンスと思って行っておいで。あなたは1人しかいないんだから』と声をかけてもらいました。その後押しで気持ちが変わりました。そういう先生方がいるのはすごく心強いし、それだけの応援のもとで自分もやってみたいと思いました」

とは言うものの、一度は引退した身。まずはフ



信頼厚い高野内トレーナー（写真左）とともにまずはフィジカル面での強化に励んでいる



ィジカルの強化に励んでいる。

「半年も離れていたので、思考の部分は落ちていないけど、身体がついていきません。フィジカルを強化せざまに練習に入ってケガをしてしまったら、ここにきた意味がないので」

心身を黙々と高めている藤井。最後にオリンピック予選への思いを聞いてみた。

「やるからにはチケットを勝ち取りたいですよ。自分が入ることで最後に勝ち切る力にプラスになれば、最後の1点、というところでどんな形でも得点に絡めればいいと思っています」

† 藤井選手のサイン入りレプリカボールを 1名さまにプレゼント！



①氏名（ふりがな）②住所③年令、または学年④電話番号⑤今月号でおもしろかった記事を3つとその理由
⑥おりひめジャパンへの応援メッセージを明記のうえ、144ページ下欄の宛先に「藤井選手サイン入りボール係」としてハガキ、FAX、メールでお送りください。締め切りは10月末日（消印有効）。当選者は12月号誌面上で発表。

※藤井選手のプロフィールは68ページに掲載